

TIME	内容
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 さあ、今年は節分が124年ぶりに2月2日ということでしたが、</p> <p>田村： こんなことあるんですね。どういうことなのでしょうね。 まあ、閏年的なことなのでしょうね。</p> <p>廣川： 田村さんのお宅ではいかがでした？ 豆まきしたりとか、恵方巻き食べたりとか。</p> <p>田村： 全然、何にも。一応、子どもたちは保育園で鬼のお面とかを作ってきて家で被ったりしてたけど、僕が鬼になって「ワ～！」みたいなことは一切。</p> <p>廣川： これまでも？</p> <p>田村： 1回もしたことないです。一応、奥さんが恵方巻きを買ってきてたんで、普通は1本まるまるですよ？ 1本まるまるを喋らずに食べきるんですよ？</p> <p>廣川： 恵方を向いて。</p> <p>田村： 普通に輪切りにしたやつ1個だけを娘は恵方を向いて黙って食べてたけど。普通とあんまり変わらんやんっていう。ちょっと口数少ないくらいのね。</p> <p>廣川： 良いことが今年もありますよということ。 それでは特集にいきましょうか。今回はこの作者、岡本太郎さんに関するものが吹田に点在しているということで、梅山さんが巡ってくれました。 それではどうぞ。</p>

## 特集「吹田市に残る岡本太郎作品を巡る」

ナレーション：

大阪の象徴といえば、誰もが思い浮かぶのは、こちらの太陽の塔ですよね。  
1970年に開催された日本万国博覧会のテーマ館の一部として制作された作品で  
作者はお馴染み、岡本太郎。今年生誕110周年を迎えました。実は吹田市には  
「太陽の塔」を含め3つの岡本太郎の作品が残っています。というわけで  
今回は吹田市に残る岡本太郎作品を巡りその情熱を感じたいと思います。

リポーター 梅山茜

今回は私、梅山茜が岡本太郎さんの作品3つをご紹介しますと思います。  
まずはやっぱりこちら、「太陽の塔」。実は私、この万博記念公園に入場したの  
今日が初めてなんです。やっぱり迫力ありますよね。

ナレーション：

というわけで、あまり詳しくない梅山さんのために吹田市立博物館の学芸員である  
五月女さんに来てもらいました。

リポーター 梅山茜

五月女さんはもちろん何回か？

五月女さん

もう何度も何度も数え切れないほど来ています。

リポーター 梅山茜

数え切れないほど。

五月女さん

これ高さが70mあるんですね。で、なんと腕の長さだけで25mもあるんです。  
ご存知の方もいるかもしれませんが大阪万博の時のテーマというのが  
「人類の進歩と調和」というものですよね。

リポーター 梅山茜

それをもとに、こんなに大きな芸術作品が生まれたというわけなんですね。

五月女さん

そうですね。

ナレーション：

1970年の日本万国博覧会のテーマ館の一部として制作された「太陽の塔」。  
大阪万博閉幕後、永久保存となり昨年には国の登録有形文化財になりました。

五月女さん

見てみると、顔らしきものが見えますよね？

リポーター 梅山茜

ありますね。

五月女さん

「太陽の塔」には顔が全部でいくつあると思いますか？

リポーター 梅山茜

いくつ？今見えている限りで言いますと、まず上の顔、そして真ん中の顔、2つですよ。聞いた話によると、どうやら裏にも顔があるということで合計で3つですよ？

五月女さん

ブブー

リポーター 梅山茜

ブブーですか？

五月女さん

正解は4つなんです。

リポーター 梅山茜

4つですか！

五月女さん

まず見えている顔から言いますと、一番上の金色の「黄金の顔」って言いますがあれは未来を表す顔だといわれています。真ん中といいましょうか、ちょっと下の方にあるあれが現在を表す「太陽の顔」って名前の顔です。

ナレーション：

そして本当に裏にも顔があるのか確かめに行くと

リポーター 梅山茜

あっ！これが3つ目！

五月女さん

これですね。これが背中の方にある「黒い太陽」というもので、過去を表している太陽なんですね。

リポーター 梅山茜

あっ、そっか！さっき未来と現在で後ろ側が過去。

ナレーション：

過去・現在・未来を表現した3つの顔。

岡本太郎は「人間の身体、精神のうちには、いつまでも人類の過去、現在、未来が一体になって輪廻している」と考えていたからだそうです。

リポーター 梅山茜

で、これが3つですよ。

五月女さん

そうですね。

リポーター 梅山茜

でも、4つあるんですよ。

五月女さん

あるんです！

ナレーション：

4つ目の顔は塔の中にあります。

ここは2018年までは非公開でしたが、耐震補強工事が完了し、今では一般公開されています。

五月女さん

見えてきましたよ。

リポーター 梅山茜

えっ！あっ！あれですか？

五月女さん

これですね。

リポーター 梅山茜

これが4つ目の顔？

五月女さん

はい。これはですね、第4の顔「地底の太陽」ですね。

ナレーション：

4つ目の顔は「地底の太陽」。  
実は万博当時のものは行方不明となり、新たに作られたものなんです。  
周囲には仮面や神像が配置され“根源の世界”を表現しています。  
しかし太陽の塔の中はこれだけではありません。奥に進むと…

リポーター 梅山茜

あっ！すごい！えっ？うわっ！上の方まで！うわっ！すごい！

五月女さん

ずっと樹になってるんです。「生命の樹」っていうふうに名付けられたものですね。

リポーター 梅山茜

結構な高さありますよね。

五月女さん

そうですね。  
昔の生き物からだんだんと哺乳類になっていくっていうものなんですけど。

ナレーション：

この「生命の樹」は下にはアメーバやクラゲなど原生類時代の生き物がいて  
上にあがるにつれ進化していく造りになっています。岡本太郎は根源から未来に  
向かってふきあげる「生命のエネルギー」を表現しています。

リポーター 梅山茜

上に行くにつれて進化しているんですね。一番上に行くと何があるんですか？

五月女さん

それは、じゃあせっかくなので田村さんへのクイズにしますか。

リポーター 梅山茜

あっ！いいですね。ではここで問題です。  
この「生命の樹」は上に行くに連れて進化しています。  
では一番上には何があるのでしょうか？

TIME	内容
	<p>廣川： さあ、田村さんにクイズが出ました。太陽の塔内部にある「生命の樹」、その一番上にあるものとはズバリ何でしょう！？</p> <p>田村： 僕、もちろん中に入ったことあるんですけど一番上まで行ってないんですよ。仕事の関係で。なので、一番上は見てないんですけど、予想するに吹田にあるものなので。吹田の象徴的な。あの時代に未来をあれした（作った）わけですから、僕の銅像がある。</p> <p>廣川： 田村さんが上に君臨している、と。 果たして答えはなんでしょう？ 正解をどうぞ。</p>

TIME	内容
	<p><u>リポーター 梅山茜</u> では五月女さん、正解をお願いします。</p> <p><u>五月女さん</u> はい。正解は「クロマニヨン人」です。あちらですね。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> あっ！何か持っている。</p> <p><u>五月女さん</u> そうですね。なんか3人いますよね。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> いわゆる現代人ではなくって、なんでクロマニヨン人なんですかね？</p> <p><u>五月女さん</u> もしかしたら岡本太郎が70年の万博の時にこの太陽の塔のお客さんのことを展示物っていうふうに見なしたのかもしれないですよ。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> 皆さん見に来てくれている人が展示物だと？ カッコいいですね。 岡本太郎さんじゃないのに何で照れてるんですか？</p> <p>ナレーション： 続いて、岡本太郎作品2つ目の場所へ。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> 2つ目がこの辺にあるんですか？</p> <p><u>五月女さん</u> あちらです。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> あっ！あれですか？ もう絶対あれって分かりますよね。</p> <p><u>五月女さん</u> そうですね。「リオちゃん」という名前なんですけども。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> 「リオちゃん」？ 可愛い名前ですね。</p>

ナレーション：

地下鉄御堂筋線・江坂駅から徒歩1分の場所にある豊津公園。

ここに2つ目の岡本太郎作品「リオちゃん」があります。

この可愛い名前、理由があるんです。

五月女さん

「リオちゃん」っていうのは愛称なんですけれども、元々ダスキンさんが「江坂カーニバルプラザ」というシーフードのレストランを経営してましてそれが1983年に出来たんですけども、その時の社長さんが

「カーニバルといえばリオデジャネイロ。リオデジャネイロといえば灼熱の太陽。太陽といえば「太陽の塔」の岡本太郎」てなことで、岡本太郎さんに看板の制作を依頼したという、そういうことなんです。

ナレーション：

連想ゲームのように岡本太郎に看板を依頼するなんて驚きですね。

リポーター 梅山茜

でも気になったんですが、カーニバルプラザ？

江坂とカーニバルって関係ないですよね？

五月女さん

そうですね。それはですね。

リポーター 梅山茜

あっ！ちょっと待ってください！

これももしかしたら問題にできるんじゃないですか？

五月女さん

そうですね。

リポーター 梅山茜

ということで、ここで田村さん、問題です。

なぜ江坂とは関係のないカーニバルという名前が付いたんでしょうか？



TIME	内容
	<p>廣川： さて、田村さんに第二問です。かつて江坂にあった「カーニバルプラザ」その名前の由来は何でしょうということなんですが、田村さんはカーニバルプラザへ行ったことはありますか？</p> <p>田村： 行ったことはあんのかな？分からないんですけど、遠いんですよ、僕の住んでたところからは。行った記憶は無いんですけど、「カーニバルプラザ」という名前は聞き馴染みがあるので、それに疑問を抱いたことがない。</p> <p>廣川： 「リオちゃん」は見たことありますか？</p> <p>田村： リオちゃんはあります！この番組でも行かせてもらったので。さっきみたいな連想ゲーム的なこと？じゃないかな？飲食店ですよ。だから、カニを食べるバルやったんじゃないですか？カニを食べるバルでカーニバル。</p> <p>廣川： おお！それでは正解は？</p> <p>田村： ダジャレからきてるってのはどうですか？</p>

TIME	内容
	<p><u>リポーター 梅山茜</u> 改めて正解を五月女さんお願いします。</p> <p><u>五月女さん</u> はい。正解はシーフードレストランで出していたメニューのメインのものがカニだったということで「カニ威張る」というところから「カーニバル」になったというエピソードもあるそうです。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> なるほど！カニが威張ってカーニバル。ダジャレですね。</p> <p><u>五月女さん</u> そうですね。</p> <p>ナレーション： 正解はシーフードのメイン料理がカニだったので「カニ威張る」から付けたそうです。 そんな由来の「リオちゃん」。実は発注したダスキンの本社が目の前にあるんです。</p> <p><u>五月女さん</u> 2007年にお店を閉じまして博物館の方で頂いたんですけども、博物館の方にあるよりも、元々あった江坂、なおかつダスキンさんのところにもある岡本太郎作品と一体的に市民の憩いの場にしたいということで、こちらにまた再移転したんですね。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> なるほど。</p> <p>ナレーション： というわけで3つ目の岡本太郎作品はダスキン本社にあるそうです。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> こちらですか？</p> <p><u>五月女さん</u> そうですね。「みつめあう愛」という作品ですね。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> 大きいですね。</p>

TIME	内容
	<p><u>五月女さん</u> これ縦8m、横4.5mっていう大きな壁画ですね。</p> <p>ナレーション： 「リオちゃん」からの繋がりで1990年のダスキン本社ビルの竣工に合わせ制作された陶壁画。880ピースもの陶板から出来ていて、それは太陽の塔の「黒い太陽」でも取り入れていた信楽焼です。 岡本太郎は信楽焼を気に入っていたんですね。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> 初めて見たんですけど、なんか2つの新しい生命が誕生した瞬間に私は見えただんですけど。</p> <p><u>五月女さん</u> すごいですね。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> 本当ですか？</p> <p><u>五月女さん</u> すごいな！初めて見てそんな感想ってすごいですね！</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> なんかそんなふうに思いました。</p> <p><u>五月女さん</u> そうですね。これは人や地域をしっかりと見て、ダスキンさんとしてもしっかりと地域の人たちから見てもらえる存在、地域社会と共に歩んでいきたいとそういう願いが込められているそうです。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> なるほど。じゃ私たちもいつでも岡本太郎さんに見守られているような感じなんですね。</p> <p><u>五月女さん</u> そうですね。</p>

TIME	内容
	<p>ナレーション： この「みつめあう愛」はダスキン本社ビルの2階公開空地にあり 朝5時から夜11時まで誰でも見ることができます。 さて吹田市にある岡本太郎作品いかがだったでしょうか？ 生誕110周年にあたる今年、作品巡りはいかがですか。</p> <p><u>五月女さん</u> 皆さんに見ていただいて、それぞれのメッセージを受け取ってもらえれば いいのかなというふうに思います。</p> <p><u>リポーター 梅山茜</u> ぜひ田村さんも見に来てください！</p>

TIME	内容
	<p>田村： へえ～、知らなかった。面白い。</p> <p>廣川： 吹田市内にこんなに芸術作品が。</p> <p>田村： ダスキンの本社の中にもあるんですね。知らなかった。</p> <p>廣川： 本社の外じゃないかな。</p> <p>田村： ビルの中に。すごいですね。「みつめあう愛」。見に行きたいわ、ホンマに。</p> <p>廣川： 問題2問とも…</p> <p>田村： ホンマや、正解やん。2問とも正解ですよ？</p> <p>廣川： 正解でいいですか？</p> <p>田村： いいんじゃないでしょうか。</p> <p>廣川： クロマニヨン人が上にいましたね。</p> <p>田村： クロマニヨン人の方が正解に近いですよ、むしろ。</p> <p>廣川： 普段、生活してる中に岡本太郎作品があるっていうのを知らなかった人も多いんじゃないですか？</p>

田村：

多いと思いますよ。太陽の塔は知ってても、リオちゃんにしても、ダスキンの本社のも知らなかったんで、僕は。知らない人も多いと思いますし、まさかのダジャレからきてるっていうのもね。

あれ、ホンマにほぼ正解でしたね。

廣川：

すごかったですね。カニからきていたと。

田村：

前の口ケの時に聞いてたのが残ってたんかな？

廣川：

あ、じゃあ、ちゃんと覚えてるってことですよ、記憶の中に。

田村：

覚えてないけど…。

廣川：

みなさんは分かったでしょうか？ この問題。

田村：

ぜひともみなさん3か所巡ってください。

廣川：

ただ、「太陽の塔」なんですが入館は事前予約制になっているということですので、公式ホームページで予約をしてください。  
以上、特集でした。

<ワンポイント手話>

病院へ行きます。

TIME	内容
	<p>田村： 続いては「吹田でSDGs！」</p> <p>(フライングタイトル)</p> <p>廣川： 先日特集でも紹介しましたSDGs。 市内ではその取り組みを行っている企業や団体がたくさんあるということで、このコーナーでは、その取り組みを紹介していきます。</p> <p>田村： こないだの特集で初めて知ることも多かったですし、なかなか分からないとかイメージしにくい方もいると思いますから、取り上げていきましょう、どんどん。</p> <p>廣川： 実例を紹介し、田村さんや私、視聴者の皆様も含めて、一緒に少しずつSDGsに取り組んでいけたらと思います。今回は初回ということで、我が町吹田はどんな取り組みをしているのかキリン君が調べてくれました。</p> <p>田村： キリンく～ん！</p>
	<p>キリン君： 皆さんこんにちは、キリン君です。 今回から僕がSDGsについて突撃取材するね。 最初の内容はコチラ！ 「気候変動に具体的な対策を」。 突然ですが、皆さんはこの動画見たことある？</p> <p>市長： みなさんこんにちは。地球温暖化防止と言われても具体的に何をしたらいいかわかりにくいですよ。SDGsという国際的な約束、その中に大きなヒントが隠れています。私はその中でとても気になることがあります。 それは14番目「海の豊かさを守ろう」という目標です。 さて、じゃあ役所でどういう具体的なことができるか。 みなさん、たくさんクリアファイルを使っていると思いますが、私は紙のクリアファイル。クリアじゃないですね。紙ファイルを使いたい。愛用しています。この中に書類が入っています。 さて、次々とバトンを渡していきます。どんなアイデアがでるでしょうか。楽しみにしています。では次の人、どうぞ。</p>

麒麟君：

この動画、その名も「SDGsボールリレー」。  
後藤市長や市の職員の皆さんがSDGs目標の中で環境に関する取り組み事例を紹介しているんだ。動画にはなんと！

田村：

あー、お腹すいた～。さあ、いただきまーす！美味しい！  
ごちそうさまでした！しっかりきれいに食べました。  
皆さんも残さずに、食品ロスを削減するんやで～！

麒麟君：

もちろん田村さんはチェック済みだね。  
この動画はどのように作られたのか、動画を作った人に突撃取材。  
田中さん こんにちは。

田中さん：

麒麟君、こんにちは。

麒麟君：

田中さん。どうしてこの動画を作ったんですか？

田中さん：

これは「吹田クールアースウィーク」という地球温暖化防止の取り組みを広げる週間に合わせて作ったんだよ。  
私はマイボトルとかマイバッグを持つということを心掛けているよ。

麒麟君：

僕もこの動画でいろんなこと知ることが出来たよ。

田中さん：

そうだね。この動画はすごく楽しいものに作ってるから、  
この動画を見てくれた人が1つでも地球温暖化防止の取り組みをしてくれたら嬉しいと思うよ。

麒麟君：

続いてはコチラ。「ジェンダー平等を実現しよう」  
突然ですが、田村さんにクイズ！このマーク、一体な～んだ？  
5秒以内に答えてね。

(田村、返答)



麒麟君：

はい、ブッ～！ やっぱり田村さんじゃあ分からないよね。  
正解は、「ダブルリボンマーク」。紫の「女性への暴力根絶」と、  
オレンジの「児童虐待防止」、2つのシンボルリボンを  
組み合わせたマークで、実は吹田市が独自に作ったマークなんだよ。  
このダブルリボンマークはバッチとして販売したり、ガンバ大阪とコラボして  
グッズを作ったり、街中の自動販売機にラッピングしたりして、  
いろんな所で見かけるよね。この売上の一部が、DVや児童虐待の防止対策の  
財源になっているんだよ。ダブルリボンマークについて突撃取材。  
大久保さん、よろしくお願いま～す！

大久保さん：

お願いします。

麒麟君：

このダブルリボンマークはいつからあるんですか？

大久保さん：

ダブルリボンマークは平成23年に吹田市が独自で考えたものなんだよ。  
ダブルリボンマークを掲げて、DVや児童虐待防止に係る講座やイベントの  
実施やダブルリボンバッチの販売を通して「あなたはひとりではない。  
Stop Violence」というメッセージを伝えています。  
現在では、ダブルリボンマークの想いに協力してくれる仲間が全国に  
たくさんいるんだよ。

麒麟君：

SDGsって新しい言葉だから難しく考えがちだけど、  
すでにやっていた取り組みがSDGs目標に繋がるってこともあるんだね。

大久保さん：

そうだよ。ダブルリボンマーク、見たことはあるという人はいても  
意味までは分からないという人はまだまだたくさんいます。  
これからも啓発活動を続けていきたいと思っています。

麒麟君：

これからはいろんな取り組みを紹介できるように、突撃取材がんばるぞ！

TIME	内容
	<p>田村： ありがとうございました。</p> <p>廣川： SDGsのボールリレー、田村さんもね。</p> <p>田村： はい、しっかり参加してましたね。 ただ、動画は初めて見ました。すいません。 紙ファイルとかね。</p> <p>廣川： そう！市長が使ってた。</p> <p>田村： あんなのもあるんやって、案外知らなかったし。 僕ね、吉本からいろんな書類送られてくるの、全部クリアファイルでくるんですよ。貧乏性でクリアファイル捨てられへんくて…</p> <p>廣川： 私も！</p> <p>田村： すごい溜まっていくねん、あれ。再利用どうしていいか分からへんし。 僕は返すんですけど、マネージャーにまとめて渡して 「また使ってください。俺のやつこれでいいから」って渡すんですけど。</p> <p>廣川： そういった再利用で何度も使うってことも繋がってくるかもしれないですし。</p> <p>田村： でも、紙ファイルはもっと浸透したらいいですよ。</p> <p>廣川： あと、Wリボン、吹田発祥なんですね。</p> <p>田村： これ、すごいやんか。吹田発祥。これ世界に広がりそうなもんやしね。</p>

誇らしいですね。

廣川：

自動販売機もあるんですね。

田村：

それを買うだけで、ちょっと寄付してることになるというのはありがたいね。そんな自動販売機、むっちゃ増えたらいいのにね。日々の生活が寄付にもなったら嬉しいですよ。

廣川：

今回は、市の取り組みでしたが、次回は企業の取り組みということで、これがどう事業活動に生かされていくのか、そこも注目したいとおもいます。次回もお楽しみに。以上、「吹田でSDGs」のコーナーでした。

TIME	内容
	<p>吹田市からののお知らせ（コロナ関連情報）</p> <p>&lt;廣川 ナレーション&gt; ※事前収録</p> <p>市民の皆さまへお願いです。                  正しくマスクを着用、入念な手洗いを徹底してください。                  特に急がない用事での外出を控えてください。                  普段から会う機会の少ない人との会食を控えてください。                  少人数でも飲み会は控えてください。</p> <p>感染拡大の防止にご協力をお願いします。</p> <p>新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプランに                  次の1件を1月25日に追加決定し、市議会臨時会に提案しました。                  市民生活への支援として                  特定病院・ひとり親世帯等にすいたエール商品券を配付します。                  詳しくは市のホームページをご確認ください。</p> <p>新型コロナウイルスワクチンに関するお知らせです。                  市では、新型コロナウイルスのワクチンが承認された場合                  速やかに接種できるよう、準備を進めています。                  当面の間、確保できるワクチンの量に限りがあるため、                  国が示す優先順位に応じて、順次接種を進めていく予定です。                  接種の優先順位は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療従事者</li> <li>2. 高齢者（令和3年度中に65歳以上に達する方）</li> <li>3. 基礎疾患を有する方・及び高齢者施設等の従事者</li> <li>4. それ以外の方</li> </ol> <p>と想定されています。</p> <p>ワクチン接種に便乗した詐欺にご注意ください。                  ワクチンの接種費用は無料です。                  保健所職員を名乗り、「高齢者は優先的にワクチン接種が受けられる。                  予約金の振り込みが必要」などと金銭を要求する電話が                  近隣市で確認されています。                  行政機関が、新型コロナウイルスのワクチン接種に対して、                  金銭を要求することはありませんので、ご注意ください。</p> <p>詳しくは市のホームページをご確認ください。</p>

TIME	内容
	<p>田村：                      続いては、市内で行われた出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。</p> <p>廣川：                      今回は「市役所が便利になる」話題です。</p>
	<p><u>ナレーション（廣川）</u>                      市民課の証明書などの発行手数料の支払いに、キャッシュレス決済とセミセルフレジが導入されました。</p> <p>&lt;市民課 住友晴香さん&gt;                      吹田市役所市民課では1月14日から証明書等発行手数料の支払いに「LINE Pay」「Pay Pay」によるキャッシュレス決済をお使い頂けるようになりました。                      ご自身のスマホなどのアプリでQRコードを読み取っていただき、金額を入力し、お支払い頂く方法です。                      また、現金のお支払いについても北摂地域の市役所では初めてセミセルフレジを設置しました。                      現金のやりとりを非接触で行うことは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に有効だと考えています。                      ではQRコードでのお支払い方法について実際にやってみます。</p> <p>QRコードを読み取り、金額を入力します。</p> <p>職員に画面を見せ、支払いボタンを押します。</p> <p>レシートを受け取って完了です。</p> <p>現金の場合は、お金を投入し、投入完了を押します。</p> <p>お釣りがある場合はお釣りを受け取り、最後にレシートを受け取って完了です。</p> <p><u>ナレーション（廣川）</u>                      なお市民課では、令和3年度中にクレジットカード、交通系電子マネー、その他のキャッシュレス決済についても拡充を図る予定だということです。</p>

TIME	内容
	<p>廣川： 便利ですね。</p> <p>田村： 便利というか、なんか時代やねえ。市役所ですよ。 でも、そのほうがいいもんね。楽やし、時間もかからへんしね。 小銭やりとりせんでええしね。それはそのほうがええよね。 「Pay Pay！」っていわれるのも気持ちいいしね。</p> <p>廣川： チャリンっていうのが良いですよ。</p> <p>田村： 「Pay Pay！」っていわれたいから。</p> <p>廣川： 以上、「吹田のトピックス」でした。</p> <p>田村： ということで、今回はここまでとなります。 それではまた次回お会いしましょう。さようなら。</p>